



← 画面左のくねくねは水戸芸術館のタワー。その下を、鯉のぼりならぬ鮎のぼりが泳ぎ、そろいの鮎ワッペンをつけた漁協や支援の人たちが清流を守ろうとアピールしました。



日本一のアユと清流を守ろう

環境破壊と税金ムダづかいをやめろ

日本一のアユの産地ってご存じですか？なんと茨城県。そして、栃木県から流れる那珂川がダントツの漁獲量だそうです。

この那珂川と霞ヶ浦とをつなぐ導水事業が、多くの問題点を無視して強行され、那珂川に取水口を設置する工事が始められようとしています。これに反対して、関係する栃木・茨城の7つの漁協が一致して立ち上がっています。

ちなみに、自然と環境を破壊するだけの大型公共事業として、たとえば長良川の河口堰、あるいは九州

の諫早湾干拓や川辺川ダムなどが全国的に有名です。じつは、それら税金ムダづかいの事業の地元では、いずれも関係する漁協は早い段階で補償金を受け取ってしまったそうです。

ところが那珂川の事業では、関係する7つの漁協が、どこもカネを受け取らず、裁判所に取水口建設の差し止めを求めて仮処分を申し立てているのです。

さまざまながらみはあるはずですが、くれるというカネならもらいたい人だっているかもしれません。し

かし、そんなことに屈しないで、子や孫に清流を残そうと運動をすすめている心意気に拍手を送りたいと思います。

写真は、いずれも7月8日、水戸地裁での第3回審尋にあわせて、その報告集会とデモが水戸市内でおこなわれたときのようすです。

これまでに、城里町や取手市で集会が開かれ、9月にも栃木と茨城で専門家を招いてのシンポジウムが予定されているそうです。私たちの税金がムダに投じられるわけで、漁協だけの問題ではありません。

